

準備書面の書き方

準備書面の書き方を順次説明しますので、準備書面の用紙を見ながら読んでください。なお、準備書面への記載はペンかボールペンでお願いします。

※1について

事件の特定のため、**事件番号**（令和〇〇年(ワ)第〇〇〇号）、**原告及び被告の氏名**を書いてください。

※2について

作成日付、提出先となる**大阪地方裁判所第〇民事部**、原告・被告いずれかの□に√印を入れ、あなたの**氏名**を書き、**押印**してください。

※3について

相手方の準備書面に対する認否・反論を書く場合（記載例）

「 令和〇〇年〇月〇日付け準備書面に対する認否・反論は次のとおりである。

- 1 第1項記載の事実は全て認める（否認する、知らない）。
- 2 第2項記載の事実中〇〇の事実は否認する。〇〇ではなく〇〇である。
- 3 第2項記載の事実中〇〇の事実は知らない。 」

というように、相手方準備書面に書かれている事実のうち、認める部分、認めない（否認）部分、知らない（分からない）部分がどこかが分かるように書いてください。

※4について

私の主張を書く場合（記載例）

「 私の主張は次のとおりである。

- 1 〇〇について

〇〇については、〇〇である。（乙第1号証） 」

などと、当該事件に関する、あなたの主張（言い分、言いたいこと）を書いてください。また、引用できる書証（書証を裁判所に提出するには、別途手続が必要です。）があれば、該当部分の文末に書証番号を括弧書きしてください。

○ 準備書面の記載内容について、分からないことがあれば、弁護士（大阪弁護士会：Tel06-6364-1248）や法テラス大阪（Tel0503383-5425）等に相談してください。